

国土交通省から「テレワーク実証実験」へのご協力(トライアル参加)のお願い

テレワークとは、ICT(情報通信技術)を活用した場所にとらわれない柔軟な働き方です。

現在、国土交通省では、天理市においてテレワークが実施可能なスペース(テレワークセンター)を設置し、主に天理市周辺から大阪に勤務している社員を対象に、テレワークを活用した遠隔勤務の実証実験を実施しています。

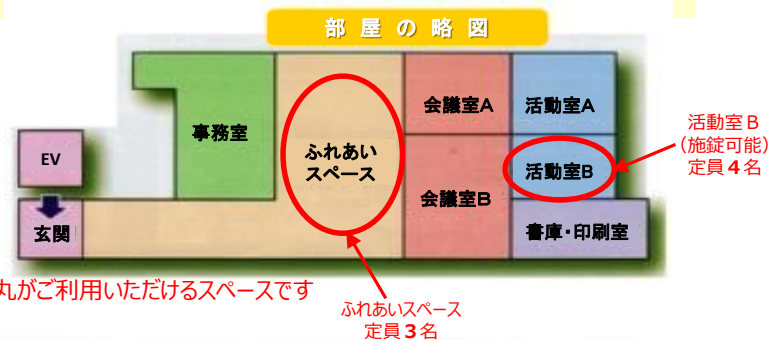
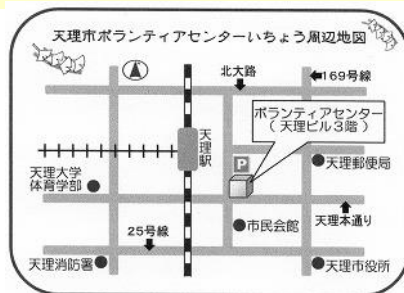
テレワークにより、社員にとっては、通勤負荷の軽減、企業にとっても、今後、労働人口が減少する中での優秀な人材の確保、災害発生時の事業継続性の確保等の効果が期待できます。

当該実証実験にトライアル参加して頂ける企業・社員を募集しています。

実証期間は、平成28年2月末までを予定しています。

天理市ボランティアセンター「いちよう」内 テレワークセンターのご紹介

国土交通省「平成27年度テレワーク推進調査（テレワーク展開拠点整備推進方策検討調査）」の一環として、天理市の協力のもと、テレワークの実証実験を行っています。



アクセス

JR・近鉄天理駅前（徒歩1分）

<所在地>
天理市ボランティアセンター「いちよう」内
天理市川原城町680番地
天理ビル3階

開設日時

月曜日～金曜日 8時30分～17時

設備・機材

インクジェット複合機1台、光インターネット回線/Wi-Fi、リモートデスクトップツール（貸与）、常設ノートパソコン 1台（Windows7）、Web会議システム（Chromebox for Meetings）

利用について

- ・「いちよう」の個室「活動室B」（定員4名）、オープンスペース「ふれあいスペース」（定員3名）
- ・「活動室B」については施設可能です
- ・ご利用可能な日時・部屋については、随時、事務局にお問合せください
- ・ご利用にあたっては、ご利用日時が重複しないよう企業様毎に、事務局にて事前に調整いたします

募集条件

- ・テレワークの導入にご関心をお持ちの企業
- ・天理市から大阪などへ通勤する社員を雇用している企業
- ・ヒアリングやアンケートにご協力いただける企業
- ・利用期間の長さや利用頻度は問いません
- ・必要な設備・機材は事務局が用意するため企業様に導入費用は発生しません

お問い合わせ先

天理市テレワークセンター事務局（株式会社ワイズスタッフ内）
TEL 0743-74-2012 E-mail tenri-twc@ysstaff.co.jp



ふれあいスペース



活動室B

貴社でも、テレワークを試してみませんか？

テレワークとは、ICT（情報通信技術）を活用した場所にとらわれない働き方です。
国土交通省が天理市で実施する実証実験に参加して、テレワークを試してみませんか？

天理市ボランティアセンター
内の施設を試験利用でき
ます。

天理市テレワークセンター



ICTで接続



会社

※テレワークセンターでは、経理事務、
報告書・資料作成、営業準備、デザイ
ン等の業務が可能です。



プレゼン資料作成



データ分析



例えば：天理市に自宅があり、大阪に勤務先がある方の場合

自宅（天理）



徒歩10分

天理市テレワークセンター



電車で90分

勤務先（大阪）



片道80分の通勤時間削減可能

会社と同じセキュリティを確保できます

- 例えば、「遠隔アクセスシステム」を使うことで、テレワークセンター内のPCを使って会社の自席にいたときと同様の作業ができます。テレワークセンターのPCは、キーボード操作と画面表示のみの用途のため、テレワークセンターにデータは残りません。
- 施錠可能な個室を使用可能です。

会社のPCをテレワークセンターのPCで遠隔操作

ネットで接続

会社のPC



テレワークセンターのPC

会社でも仕事のマネジメントができます

- 例えば、「在席管理システム」を使うことで、会社にいる上司は、テレワークセンターに通う社員の在席状況を確認することができます。
- また、テレワーク中のPCの作業状況は、会社からモニターすることもできます。



離れていてもコミュニケーションが可能です

- 例えば、「テレビ会議システム」を使うことで、職場で仕事をしている雰囲気や共有し、孤独感が解消できます。
- レスポンスの良い会議システムを利用することで、オフィス間での声掛けや打合せがストレスなく可能になります。



テレワークセンター

テレワークセンターと会社とのコミュニケーションの様子

- 短期的には、社員のワークライフバランス、生産性向上、諸経費の節減に寄与し、災害発生時の事業継続性も担保できます。
- 長期的には、労働人口が減少する将来において人材確保に寄与します。

テレワークはワークライフバランスを向上します

テレワークとは、ICT（情報通信技術）を活用した場所にとらわれない働き方です。

- テレワークによって、
- ①通勤の肉体的・精神的負担が軽減します
 - ②仕事の生産性・効率性を向上できます
 - ③家庭内のコミュニケーションを増やすことができます
 - ④趣味や自己啓発の時間をとりやすくなります

通勤時間のかかる会社ではなく自宅近くのTWC(テレワークセンター)に通勤。

会社

例えば：天理市に自宅があり、大阪に勤務先がある方の場合

勤務先（大阪）

天理市TWC

ICTで接続

自宅（天理）

電車で90分

徒歩10分

天理市TWC

片道80分の通勤時間削減可能

天理市から大阪に勤務している男性Aさん（既婚・子供有）の例

奈良市から大阪に勤務している女性Bさん（既婚・子供有）の例

	【通常出社】	【TWC勤務】	
6:00	身の回り	睡眠	睡眠時間確保
7:00	通勤 1時間30分	身の回り 通勤	
8:00	職場で業務	TWCで業務	朝ゆっくりと眠れ、また、子どもと一緒に夕食が食べられるようになり、健康的な生活が送れるようになりました！ Good
9:00			
10:00	職場で業務	TWCで業務	育児時間確保
11:00			
12:00	職場で業務	通勤 1時間30分	時間の利用方法（例） ●趣味・娯楽 ・読書、ビデオ鑑賞 ●家族との時間 ●自己啓発 ・資格取得の勉強
13:00	通勤 1時間30分	身の回り	
14:00	身の回り	睡眠	
15:00	睡眠		
16:00			
17:00			
18:00			
19:00			
20:00			
21:00			
22:00			
23:00			

	【通常出社】	【TWC勤務】	
6:00	身の回り	身の回り	育児時間確保
7:00	育児・子育て	育児・子育て	
8:00	通勤 1時間	通勤 15分	朝保育園に送るまでのドタバタがなくなり、子どもが産まれてから、持たなくなっていた自分の時間が出来ました！ 今は、その時間を仕事のスキルアップの為に勉強時間や、美容室やヨガといったリフレッシュに使っています。 Good
9:00	職場で業務	TWCで業務	
10:00	職場で業務	TWCで業務	余暇活動
11:00			
12:00	職場で業務	通勤 15分	時間の利用方法（例） ●自己啓発 ・資格取得の勉強 ●趣味・娯楽 ・華道、茶道教室 ・美容室、ネイルサロン ●育児・子育て ・子供の勉強確認
13:00	通勤 1時間	身の回り	
14:00	身の回り	睡眠	
15:00	睡眠		
16:00			
17:00			
18:00			
19:00			
20:00			
21:00			
22:00			
23:00			

育児参加で子供の成長が見られる！

自分の時間ができたことで平素のストレス発散！

※TWC：テレワークセンター